



聴覚障害教育

関連用語コース

長崎県立ろう学校
自立活動部 地域支援班
2025.9 vol.28



これってどんな意味？

 いっそくせいなんちよう
「一側性難聴」

一側性難聴(片耳難聴)

片方の耳は正常で、もう一方の耳に難聴がある状態をいいます。医療関係機関では「一側性難聴」「一側難聴」などと表現されます。

片方の耳が聞こえるので日常生活には問題ないように思われがちですが、両方の耳で音を聴き取る場合と比べると、大きな違いがあります。

- (1) 聞こえにくい方の耳からの音は聞こえづらい。
- (2) 聴き取れる音でも小さく聞こえる。
- (3) 聞き落とした音を補えない。
- (4) どこから音が聞こえているか分かりにくい。
- (5) 騒がしい場所での聴き取りが難しい。

両耳が聞こえると、それぞれの耳に届くまでの時間差があることで、どこから聞こえるかが分かる。

聞こえるまで時間が掛かる
聞こえ始めが速い

両耳が聞こえている場合に比べ、聞こえにくい音が増えるため、情報を受け取りにくかったり、新しい言葉の習得が難しくなったりする場合があります。また、一対一では問題なく会話できるため、片方が聞こえにくいことが分かりにくく、障害に気付かれにくいものです。

特に、雑音下での聴き取りが難しくなるので、授業中など一斉に大勢の人が話すような環境では、大切な情報が聴き取れないことも多いです。そのため、「言ったのに聞いていない」「連絡したのに忘れている」と捉えられたり、「声を掛けたのに、無視した」と誤解されたりすることもあります。

周囲の人が「片方が聞こえているから問題ない」ではなく、「聞き取りにくい場面がある」「話した内容が聞き取れないかもしれない」と捉えて接すると、一側性難聴(片耳難聴)の人は過ごしやすくなります。また、一側性難聴(片耳難聴)がある場合は聞こえている耳を大切に、聞こえを保つよう気を付けてください。

具体的な支援については、ろう学校にお問い合わせください。

【参考文献】「聞こえ方は、いろいろ 片耳難聴Q & A」

岡野由実 (株)学苑社